

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州塩尻桔梗ヶ原ワインバレー推進事業
事業主体 (連絡先)	塩尻市経済事業部農林課 (平成27年度～産業振興事業部農政課農業振興係)
事業区分	6イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	845,140円 (うち支援金: 633,000円)

#### 事業内容

- ・塩尻ワイン大学の開催  
全国から受講生を募り、県技術員、市内篤農家、ワイナリー醸造担当者等を講師とする栽培技術研修、醸造技術研修及び圃場での実習を実施する。また、外部講師によるテイastingセミナーを実施する。
- ・ワーキンググループの開催  
ぶどう・ワイン振興のためのワーキング・グループを開催し、農家収益改善等の地域課題の解決に向けた会議を開催する。



【ワイナリー圃場視察の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①醸造用ぶどう新規就農者及び醸造事業新規参入者の育成確保
- ②既存栽培農家の栽培技術向上
- ③農家収益改善のための新商品の企画開発

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①延べ24日に渡り「塩尻ワイン大学」を開催し、32名の受講生が学んだ。新規就農準備者として、2名が新たに遊休農地(計120a)の利用権設定を行った。
- ②塩尻ワイン大学市民公開講座について、延べ7日、64人の参加があり、受講生以外のブドウ農家の技術向上の場を提供した。
- ③ワーキンググループを4回開催し、農家収益を改善するための新商品開発について、商品化への意見交換、課題の整理、事業者の募集を行った。

#### ※自己評価【B】

【理由】  
新規就農準備者や継承者不在果樹園の継承面積について、目標を達成した。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

4年間に渡る継続的な行政の支援、座学と実習の場を提供することにより、新規就農者、ワイナリー起業者の確保へつなげていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある